

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	2年	
教科等名	数学		グループ名	B組	
ねらい	・数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質を理解し、計算や図形作図の技能などを身に付けるようにする。 ・時計の読み方や身の回りの事象データの表し方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
担当教員	○鷲尾 圭介 大内 彩加 三橋 淳輝				
予定授業時数	36.5				
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆」「数学☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	個別課題学習	○	・実態に応じた個別課題学習に一定時間取り組む。	・個別課題学習にすすんで取り組むことができる。	・生徒の実態に合わせた個別課題やアプリを活用する。 ・集中できるように、環境を整える。
	・カレンダーと時計		・スケジュール表の使い方 ・時間の管理	・スケジュール表を記入し、学習予定や行事に見通しがもって行動できるようになる。 ・アナログ時計の時刻を正確に読めるようになる。 ・10分後、30分以内など定められた時間を意識して行動できるようになる。	・カレンダー、時計の模型を使用する。 ・実態に合わせた個別課題を用意する。 ・拡大した教材を提示し、全員で確認できるようにする。
	数と計算 ・数を数えよう、計算しよう	○	・数詞、数列 ・位置の理解(上下左右) ・10000の位までの数唱 ・加法、減法、乗法、除法	・上下左右を意識して数を数えたり、加法、減法、乗法、除法したりすることができる。 ・数や量を比較できるようになる。 ・数量にすすんで関わり、学んだことを生活に活用する。	・計算アプリを使用する。 ・数や量の比べ方を示す。 ・生徒の実態に合わせた個別課題を用意する。
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	数と計算 ・1000より大きい数の大小 ・計算機の使い方	○	・数の大きさの比べ方 ・10の束、100の束 ・位取り ・計算機の使用 ・暗算、九九	・大小の順に数を並べたり、10の束や100の束で数えたりすることができる。 ・位取りを意識して数を表したり、計算したりできる。 ・計算機を使って確かめ算をすることができる。	・模擬硬貨を使用する。 ・位ごとに枠を付ける。 ・計算機の使い方を写真を用い、順序立てて示す。
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	測定 ・重さを比べよう		・身近な具体物を比べ長さ、重さの比較をする。 ・単位の種類(g、kg)を知る。	・2つの具体物を比べ、どちらがどの程度重いなど調べることができる。 ・重さについて、およその見当を付け、単位を選択し、表現することができる。 ・教室にあるものから測定したいものを2つ選び、重さを比べる。	・身近にある具体物を比較し、体験を通して学べるようにする。 ・それぞれの単位で測る物の見本を示す。 ・事前に教室内の物から四角形の物を選んでおく。
1 ・ 2 ・ 3	図形 ・いろいろな図形		・図形の性質(頂点、辺、角の数)の理解 ・図形の分類 ・図形の作成	・図形の性質(頂点、辺、角の数)を理解し、図形を分類したり、作図したりすることができる。 ・三角形を組み合わせて、「魚」「船」などの形を作ることができる。 ・図形の性質を確認し、四角形や三角形を作図することができる。	・身近なものを扱って、形の学習をする。 ・タングラムを使用する。 ・マス目のある用紙を使用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年	2年
教科等名		数学		グループ名	C組
ねらい		・数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質を理解し、計算や図形作図の技能などを身に付けるようにする。 ・時計の読み方や身の回りの事象データの表し方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員		○杉内 勝 三橋 淳輝			
予定授業時数		36.5			
使用教科書		教育出版「数学☆☆☆☆」「数学☆☆☆☆☆」			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	個別課題学習	○	・実態に応じた個別課題学習に一定時間取り組む。	・個別課題学習にすすんで取り組むことができる。	・生徒の実態に合わせた個別課題やアプリを活用する。 ・集中できるように、環境を整える。
	・カレンダーと時計		・スケジュール表の使い方 ・時間の管理	・スケジュール表を記入し、学習予定や行事に見通しがもって行動できるようになる。 ・アナログ時計の時刻を正確に読めるようになる。 ・10分後、30分以内など定められた時間を意識して行動できるようになる。	・カレンダー、時計の模型を使用する。 ・実態に合わせた個別課題を用意する。 ・拡大した教材を提示し、全員で確認できるようにする。
	数と計算 ・数を数えよう、計算しよう	○	・数詞、数列 ・位置の理解(上下左右) ・10000の位までの数唱 ・加法、減法、乗法、除法	・上下左右を意識して数を数えたり、加法、減法、乗法、除法したりすることができる。 ・数や量を比較できるようになる。 ・数量にすすんで関わり、学んだことを生活に活用する。	・計算アプリを使用する。 ・数や量の比べ方を示す。 ・生徒の実態に合わせた個別課題を用意する。
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	数と計算 ・1000より大きい数の大小 ・計算機の使い方	○	・数の大きさの比べ方 ・10の束、100の束 ・位取り ・計算機の使用 ・暗算、九九	・大小の順に数を並べたり、10の束や100の束で数えたりすることができる。 ・位取りを意識して数を表したり、計算したりできる。 ・計算機を使って確かめ算をすることができる。	・模擬硬貨を使用する。 ・位ごとに枠を付ける。 ・計算機の使い方を写真を用い、順序立てて示す。
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	測定 ・重さを比べよう		・身近な具体物を比べ長さ、重さの比較をする。 ・単位の種類(g、kg)を知る。	・2つの具体物を比べ、どちらがどの程度重いなど調べることができる。 ・重さについて、およその見当を付け、単位を選択し、表現することができる。 ・教室にあるものから測定したいものを2つ選び、重さを比べる。	・身近にある具体物を比較し、体験を通して学べるようにする。 ・それぞれの単位で測る物の見本を示す。 ・事前に教室内の物から四角形の物を選んでおく。
1 ・ 2 ・ 3	図形 ・いろいろな図形		・図形の性質(頂点、辺、角の数)の理解 ・図形の分類 ・図形の作成	・図形の性質(頂点、辺、角の数)を理解し、図形を分類したり、作図したりすることができる。 ・三角形を組み合わせて、「魚」「船」などの形を作ることができる。 ・図形の性質を確認し、四角形や三角形を作図することができる。	・身近なものを扱って、形の学習をする。 ・タングラムを使用する。 ・マス目のある用紙を使用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	2年	
教科等名	数学		グループ名	D組	
ねらい	・数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質を理解し、計算や図形作図の技能などを身に付けるようにする。 ・時計の読み方や身の回りの事象データの表し方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
担当教員	○佐野 堅太 須澤 朗人 三橋 淳輝				
予定授業時数	36.5				
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆」「数学☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	個別課題学習	○	・実態に応じた個別課題学習に一定時間取り組む。	・個別課題学習にすすんで取り組むことができる。	・生徒の実態に合わせた個別課題やアプリを活用する。 ・集中できるように、環境を整える。
	・カレンダーと時計		・スケジュール表の使い方 ・時間の管理	・スケジュール表を記入し、学習予定や行事に見通しがもって行動できるようになる。 ・アナログ時計の時刻を正確に読めるようになる。 ・10分後、30分以内など定められた時間を意識して行動できるようになる。	・カレンダー、時計の模型を使用する。 ・実態に合わせた個別課題を用意する。 ・拡大した教材を提示し、全員で確認できるようにする。
	数と計算 ・数を数えよう、計算しよう	○	・数詞、数列 ・位置の理解(上下左右) ・10000の位までの数唱 ・加法、減法、乗法、除法	・上下左右を意識して数を数えたり、加法、減法、乗法、除法したりすることができる。 ・数や量を比較できるようになる。 ・数量にすすんで関わり、学んだことを生活に活用する。	・計算アプリを使用する。 ・数や量の比べ方を示す。 ・生徒の実態に合わせた個別課題を用意する。
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	数と計算 ・1000より大きい数の大小 ・計算機の使い方	○	・数の大きさの比べ方 ・10の束、100の束 ・位取り ・計算機の使用 ・暗算、九九	・大小の順に数を並べたり、10の束や100の束で数えたりすることができる。 ・位取りを意識して数を表したり、計算したりできる。 ・計算機を使って確かめ算をすることができる。	・模擬硬貨を使用する。 ・位ごとに枠を付ける。 ・計算機の使い方を写真を用い、順序立てて示す。
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	測定 ・重さを比べよう		・身近な具体物を比べ長さ、重さの比較をする。 ・単位の種類(g、kg)を知る。	・2つの具体物を比べ、どちらがどの程度重いなど調べることができる。 ・重さについて、およその見当を付け、単位を選択し、表現することができる。 ・教室にあるものから測定したいものを2つ選び、重さを比べる。	・身近にある具体物を比較し、体験を通して学べるようにする。 ・それぞれの単位で測る物の見本を示す。 ・事前に教室内の物から四角形の物を選んでおく。
1 ・ 2 ・ 3	図形 ・いろいろな図形		・図形の性質(頂点、辺、角の数)の理解 ・図形の分類 ・図形の作成	・図形の性質(頂点、辺、角の数)を理解し、図形を分類したり、作図したりすることができる。 ・三角形を組み合わせて、「魚」「船」などの形を作ることができる。 ・図形の性質を確認し、四角形や三角形を作図することができる。	・身近なものを扱って、形の学習をする。 ・タングラムを使用する。 ・マス目のある用紙を使用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		2年	
教科等名		数学		グループ名		E組	
ねらい		・数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質を理解し、計算や図形作図の技能などを身に付けるようにする。 ・時計の読み方や身の回りの事象データの表し方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。					
担当教員		○桑原 真明 三橋 淳輝					
予定授業時数		36.5					
使用教科書		教育出版 数学☆☆☆☆ 数学☆☆☆☆☆					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
通 年	個別課題学習	○	・実態に応じた個別課題学習に一定時間取り組む。	・個別課題学習にすすんで取り組むことができる。		・生徒の実態に合わせた個別課題やアプリを活用する。 ・集中できるように、環境を整える。	
	・カレンダーと時計		・スケジュール表の使い方 ・時間の管理	・スケジュール表を記入し、学習予定や行事に見通しがもって行動できるようになる。 ・アナログ時計の時刻を正確に読めるようになる。 ・10分後、30分以内など定められた時間を意識して行動できるようになる。		・カレンダー、時計の模型を使用する。 ・実態に合わせた個別課題を用意する。 ・拡大した教材を提示し、全員で確認できるようにする。	
	数と計算 ・数を数えよう、計算しよう	○	・数詞、数列 ・位置の理解(上下左右) ・10000の位までの数唱 ・加法、減法、乗法、除法	・上下左右を意識して数を数えたり、加法、減法、乗法、除法したりすることができる。 ・数や量を比較できるようになる。 ・数量にすすんで関わり、学んだことを生活に活用する。		・計算アプリを使用する。 ・数や量の比べ方を示す。 ・生徒の実態に合わせた個別課題を用意する。	
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	数と計算 ・1000より大きい数の大小 ・計算機の使い方	○	・数の大きさの比べ方 ・10の束、100の束 ・位取り ・計算機の使用 ・暗算、九九	・大小の順に数を並べたり、10の束や100の束で数えたりすることができる。 ・位取りを意識して数を表したり、計算したりできる。 ・計算機を使って確かめ算をすることができる。		・模擬硬貨を使用する。 ・位ごとに枠を付ける。 ・計算機の使い方を写真を用い、順序立てて示す。	
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	測定 ・重さを比べよう		・身近な具体物を比べ長さ、重さの比較をする。 ・単位の種類(g、kg)を知る。	・2つの具体物を比べ、どちらがどの程度重いなど調べることができる。 ・重さについて、およその見当を付け、単位を選択し、表現することができる。 ・教室にあるものから測定したいものを2つ選び、重さを比べる。		・身近にある具体物を比較し、体験を通して学べるようにする。 ・それぞれの単位で測る物の見本を示す。 ・事前に教室内の物から四角形の物を選んでおく。	
1 ・ 2 ・ 3	図形 ・いろいろな図形		・図形の性質(頂点、辺、角の数)の理解 ・図形の分類 ・図形の作成	・図形の性質(頂点、辺、角の数)を理解し、図形を分類したり、作図したりすることができる。 ・三角形を組み合わせて、「魚」「船」などの形を作ることができる。 ・図形の性質を確認し、四角形や三角形を作図することができる。		・身近なものを扱って、形の学習をする。 ・タングラムを使用する。 ・マス目のある用紙を使用する。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年	2年
教科等名		数学		グループ名	F組
ねらい		・数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質を理解し、計算や図形作図の技能などを身に付けるようにする。 ・時計の読み方や身の回りの事象データの表し方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員		○大出 彩乃 三橋 淳輝			
予定授業時数		36.5			
使用教科書		教育出版「数学☆☆☆☆」「数学☆☆☆☆☆」			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	個別課題学習	○	・実態に応じた個別課題学習に一定時間取り組む。	・個別課題学習にすすんで取り組むことができる。	・生徒の実態に合わせた個別課題やアプリを活用する。 ・集中できるように、環境を整える。
	・カレンダーと時計		・スケジュール表の使い方 ・時間の管理	・スケジュール表を記入し、学習予定や行事に見通しがもって行動できるようになる。 ・アナログ時計の時刻を正確に読めるようになる。 ・10分後、30分以内など定められた時間を意識して行動できるようになる。	・カレンダー、時計の模型を使用する。 ・実態に合わせた個別課題を用意する。 ・拡大した教材を提示し、全員で確認できるようにする。
	数と計算 ・数を数えよう、計算しよう	○	・数詞、数列 ・位置の理解(上下左右) ・10000の位までの数唱 ・加法、減法、乗法、除法	・上下左右を意識して数を数えたり、加法、減法、乗法、除法したりすることができる。 ・数や量を比較できるようになる。 ・数量にすすんで関わり、学んだことを生活に活用する。	・計算アプリを使用する。 ・数や量の比べ方を示す。 ・生徒の実態に合わせた個別課題を用意する。
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	数と計算 ・1000より大きい数の大小 ・計算機の使い方	○	・数の大きさの比べ方 ・10の束、100の束 ・位取り ・計算機の使用 ・暗算、九九	・大小の順に数を並べたり、10の束や100の束で数えたりすることができる。 ・位取りを意識して数を表したり、計算したりできる。 ・計算機を使って確かめ算をすることができる。	・模擬硬貨を使用する。 ・位ごとに枠を付ける。 ・計算機の使い方を写真を用い、順序立てて示す。
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	測定 ・重さを比べよう		・身近な具体物を比べ長さ、重さの比較をする。 ・単位の種類(g、kg)を知る。	・2つの具体物を比べ、どちらがどの程度重いなど調べることができる。 ・重さについて、およその見当を付け、単位を選択し、表現することができる。 ・教室にあるものから測定したいものを2つ選び、重さを比べる。	・身近にある具体物を比較し、体験を通して学べるようにする。 ・それぞれの単位で測る物の見本を示す。 ・事前に教室内の物から四角形の物を選んでおく。
1 ・ 2 ・ 3	図形 ・いろいろな図形		・図形の性質(頂点、辺、角の数)の理解 ・図形の分類 ・図形の作成	・図形の性質(頂点、辺、角の数)を理解し、図形を分類したり、作図したりすることができる。 ・三角形を組み合わせて、「魚」「船」などの形を作ることができる。 ・図形の性質を確認し、四角形や三角形を作図することができる。	・身近なものを扱って、形の学習をする。 ・タングラムを使用する。 ・マス目のある用紙を使用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。